

# 平成27年度第5回九重町総合教育会議

## 議事録

### ■会議の概要

1. 日 時 平成28年2月29日(月) 13:30~14:30

2. 会 場 九重町役場庁舎 3階 302会議室

3. 出席者

九重町長	坂本和昭
九重町教育委員長	佐藤 テイ子
九重町教育委員	河野 浩 治
九重町教育委員	井上 東 介
九重町教育委員	佐藤 住 子
九重町教育委員	衛藤 和 子 (委員長職務代理者)
九重町教育長	古後 粒 勝
(事務局)	
総務課長	時松 新 一
総務課行政GL	熊谷 博 文
教育振興課長	佐藤 眞 治
教育振興課参事	森山 智 紀
教育振興課教育指導GL	小幡 英 二
教育振興課教育振興GL	江藤 寿 雄
社会教育課長	小山 正 記
子育て支援課長	小幡 靖 彦

(会議公開にかかる参加者)

なし

4. 会議の次第

- 1) 開会
- 2) 町長あいさつ
- 3) 報告事項
  - ①教職員人事評価制度について
  - ②平成28年度大分県公立学校教職員定期人事異動方針について
  - ③平成28年度このえ学園基本計画に係る集合学習実施(案)について
- 4) その他について
- 5) 閉会

## ■会議録

(説明及び発言等内容は、要点でまとめています。)

次 第	説明・発言等内容
<p>1) 開会</p> <p>2) 町長あいさつ</p>	<p>(時松総務課長)</p> <p>第5回の九重町総合教育会議を只今から開催する。よろしくお願いたしたい。最初に町長より挨拶を申し上げる。</p> <p>(坂本町長)</p> <p>今日は2月最後の日である。その最後はうるう年で29日。平年ですと、この雪は3月の忘れ雪と言う頃であるが、今日はまだ2月で忘れ雪にならないと思っている。まあ一日、長い日を最高に有効に、使っていかなければいけないと思っている。</p> <p>さて、3月は、いよいよ忙しい月で、私どもは明日から3月議会が始まる。これは、平成28年度の予算議会でもあり、特に、最近は国の制度等が変わるので、非常に議案が多く提案をするようになり、今回も35議案。玖珠は確か50議案。大きな議案は予算で、来年度の予算は76億3千3百万円となった。昨年より6億2千8百万円程減額。これは、今年度総合こども園整備費が約10億あり、完成したことによるものである。この他にも減額があるが、今年はこの会議も関係するが、南山田のふれあい交流センター建設がかなり大きな予算で上げている。奥野の町有地も賃貸住宅を建てようということでその予算を上げている。それから地方創生の各種の事業、その中の主なものは100%出資の会社を立ち上げようという事で予算化。特に、教育費は9億5千万円予算を計上、8千8百13万円ほど多くなっている。議会のみなさん方と一緒に進めていかなければならない。</p> <p>さて、2月の8日に広瀬知事さんが県政ふれあいトークで、私ども緑陽中学校に来ていただいて、中学生と、保護者と、あるいは先生方と意見交換を行った。知事が生徒と対面に座って意見交換をしたのは県下でも初めてではないか。施設もしっかり見ていただいて、感心をして帰った。特に、緑陽中学校は、今年はいろんな形で、スポーツあるいは勉学に頑張っているということであり、これも、皆さん方のご支援があった賜物である。ただ、ちょっと残念なことは、美山高校の受験者が昨年よりも率にして下がってきているという事であり、特に、40人くらいの定員割れ、1学級分定員割れするような状況である。何とかして、支援をしながらこの美山高校に少しでも行く生徒を多くし、そしてまた地元に残ってもらうという努力をしていきたいと思っている。</p> <p>いよいよ新年度になる。今皆さんと一緒に進めている協調学習、あるいは学園構想。こういうものを28年度は、いよいよ定着、あるいは実践、研究に移していく時期だというふうに考えている。今年度の中ほどに作っていただいた教育大綱に沿って、新年度の学力向上やあるいは教育環境の整備に努</p>

<p>3 報告事項 ①教職員人事評価制度について</p>	<p>めていきたいと考えている。皆さん方のご支援を賜りたい。</p> <p>今日は、28年度の先ほど申したこのえ学園基本計画あるいは集合学習実施、こういうものについてご説明をし、ご理解をいただきたい。</p> <p>(坂本町長)</p> <p>それでは、報告事項、まず1点目の、教職員人事評価制度についてご説明をしてほしい。</p> <p>(佐藤課長) ※資料に沿って説明</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地方公務員法の改正概要</li> <li>2. 人事評価制度導入までの経緯と必要性、目指すもの</li> <li>3. 人事評価制度と PDCA サイクル</li> <li>4. 教職員評価システムの基本的な仕組み、年間スケジュール</li> <li>5. 目標管理       <ol style="list-style-type: none"> <li>①基本的な仕組み ②自己目標の設定 ③目標レベル・ウエイト</li> <li>④評価基準 ⑤総合評価</li> </ol> </li> <li>6. 人事評価       <ol style="list-style-type: none"> <li>①基本的な仕組み ②評価基準 など</li> </ol> </li> </ol> <p>(坂本町長)</p> <p>それでは、今説明があったのでご意見、ご質疑をいただきたい。なかなか難しい人事評価であり、勤勉手当まで反映するわけですから。</p> <p>(古後教育長)</p> <p>将来的には、公務員も普通に仕事をしていれば給料が変わらないという意識や考えは完全に変わるのではないかと。頑張る人がどんどん伸びていくというようになるのではないかと。</p> <p>(佐藤委員長)</p> <p>職場が混乱しないか心配している。現場の教職員は頑張っている。評価者がどこを見るか。その人の良さが活かされず、正しく評価を受けることができないと不信感を抱き、認められないという教職員が出てくるのではないかと危惧する。上司に媚びへつらうような人が認められ、一生懸命してる人が認められないとか。これから大変だと思う。</p> <p>(古後教育長)</p> <p>民間企業は当たり前であり、食い止めることは難しい。本当にどう正しい公平な評価を出来るかということが重要である。校長も教育委員会も責任が重い。</p>
----------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(佐藤委員長)

教育委員会はいつも現場を見て回る事となる。

(坂本町長)

制度を変えることは難しい。だからこそ上司は、今後大変になる。公平な評価ができるように、見守っていかなければならないと考える。

それでは、次に平成28年度大分県立学校教職員定期人事異動方針について説明してほしい。

(森山参事) ※資料に沿って説明

1. 広域人事の推進について
  - ①基本方針 ②管理職人事 ③一般教職員人事
2. 若年期の広域移動について
  - ①異動基準
3. 校種間の連携強化について
4. 特別支援教育の専門性向上のための取組について

(坂本町長)

従来と大きく変わっていないのか。

(森山参事)

変わっていない。

(佐藤委員長)

三年ごとには変わっているのではないか。

(森山参事)

平成24年から10年3地域とされている。

(佐藤委員長)

九重町に3年、次は残ってほしいと思っても絶対どこかに異動となる。

(坂本町長)

新採用でも3年なのか。

(佐藤委員長)

3年要件は定着できない。結婚などの障がいにもなっている。少子化に拍車をかけていると思う。実際に困っている教職員もいる。

(坂本町長)

次回になるが、総合教育会議の立場として、知事との懇談会で発言していきたい。今までは、やはり知らないこともあり、意見する場もなかったと感じている。

(佐藤委員長)

本当困っている。

(古後教育長)

それと重要なのは、校長、教頭や主幹教諭に昇任していく、幹部になっていくときに人事評価がものすごく影響する。非常に人事評価が難しく厳しい状態になっている。

(坂本町長)

町村会の政務調査会などで意見を出せないか。更に、県の町村会を通じて、県の教育長と協議する場が設けられるか検討したい。

(時松課長)

本人が地元でやりたいという意欲がある場合は地元で採用という考えもあり、他の市町村を経験することも若いうちは必要だと思う。

(古後教育長)

県内どこの市町も厳しい状況にある。教育長会には意見は出るが、ただ県は小さな市町を困らせてるわけではないとしながらも、大きい市の人事が影響していると思われる。大きい市の人事に影響させないためにも3年で異動するシステムではないか。小さい市町は、絶対数が不足している。他市町から応援を求める形となっている。よって、3年原則が適用されている。

(坂本町長)

一理あるということか。

(古後教育長)

そう思う。本当は小さい市町村は苦勞してるが、やっぱり応援が必要。近隣の自治体では、一つの学校で3分の2程度が区域外から異動してきている。そういう現象が起こるわけである。

(佐藤委員)

3年たって一応個人の希望は通らないのか。

(古後教育長)

それを参考にして市町村の教育委員会や教育長がある程度加味しながら異

<p>②平成 28 年度大分県立学校教職員定期人事異動方針について</p>	<p>動に従事している。本人の希望があれば、遠方の可能性もある。</p> <p>(佐藤委員) 専任でその市町に配置というのではないのか。</p> <p>(古後教育長) あまり例はない。遠くから異動してきた例はある。</p> <p>(佐藤委員) 新採で遠方に赴任した例はある。</p> <p>(古後教育長) 新採はやむを得ない。</p> <p>(佐藤委員長) 新採から育てたい思いがある。</p> <p>(河野委員) 難しいと思う。県は振興局とか土木事務所とか他の出先機関の職員も 3、4 年で異動している。先生だけ特別なのかと言われると返答に困るのではないか。</p> <p>(佐藤委員長) しかし、子ども相手の教育である。異動が続くのは良い事とは思えない。違う職種だと思う。5、6 年居て学校作りをするのが良いと思う。</p> <p>(坂本町長) メリットとデメリットがある。</p> <p>(古後教育長) 中堅の職員でも一年で移動する例もある。人事は難しい。</p> <p>(佐藤委員長) 拠点が定まらないのが大変である。子どもにも影響する。</p>
<p>③平成 28 年度このえ学園基本計画に係る集合学習実施について</p>	<p>(坂本町長) それでは、平成 28 年度このえ学園基本計画に係る集合学習実施について説明してほしい。</p> <p>(小幡 G L) ※資料に沿って説明</p>

1. このえ学園基本計画に係る集合学習実施について
  - ①基本方針 ②実施内容及び方法
2. 「総合的な学習時間」推進に向けて
  - ①目標・つきたい力 ②テーマ・学習内容 ③教科と関連
  - ④現状と課題
3. 平成28年度施行に向けて
  - ①進めるための構想図 ②テーマ・学習内容 ③全体計画
4. 平成28年度こども園と小学校の交流計画について

(古後教育長)

少し補足する。本来、学校はそれぞれの学校が独自の教育目標、教育計画を立て、小学校なら6年間、中学校なら3年間完結すれば良かったが、それぞれ中学校区があって、小学校からそのまま中学校に同じメンバーで入学し、15の春をそれぞれ迎えて高校に送り出してきた。ところが、統合によって九重町が一つの中学校になり、それぞれの小学校が集中する。それぞれの独自性も大事であるが、この際一つの学園と言うイメージを持って共通した何か取り組みしたいというのがこのえ学園であり、小学校段階、幼稚園の段階から積み重ね、中学校に入って3年間、更にそれを深めて15の春には一つのこども像というのを作っていく。普通の教科は、学習指導要領で中身が決められている。それで独自の総合学習という形でうまく利用して町独自のカリキュラムを作っていこうというのが今回の大きな目標である。こういう取り組みは全国の自治体でもいくつか例はあるが、九重町は早くから取り組んでおり、先例地にも視察に行った。県教委も段々と応援してくれている。実は、知事にぜひ緑陽中学校を見て欲しいというサジェスションもあったと思う。ここにきて県も国も応援するという事で、統合を推進するだけではなく、小学校など統合できない地域についても、独自の計画を立てれば支援をするという方針に転換している。現在、申請をしているが少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校推進事業がある。これは、最大限200万円程度の申請である。うまく活用させていただいて、28年度の事業実施を確実なものにし、今後につなげたい。国も応援すると言ってくれており、この事業のより良いスタートとしたい。おかげで、九重町にいる100人の教員が、集まって議論し、考えることができた。仕事は増えたが、九重町独自のオンリーワンの取り組みをとということで、非常に先生たちも意欲を燃やし、力を合わせることもできたから、結果が出てきているのではないかと。中学校があんなにいいのも、小学校が頑張って子どもを送り込んでくれるからこういう結果が出てるんじゃないかと、そういうふうに思うのでこれは何としてでも成功に向けて頑張っていきたいということである。

(井上委員)

テーマに関する事項について、メインテーマを決めるにあたっては、それ

ぞれ学校毎で決めたことだと思うが、例えば先生方が中心になって決めたのか、あるいは、内容をPTAの方にも働きかけて決めたのか、もう一つは、他の組織も呼びかけたのか。要するに地域ぐるみで取り組んだのか。学校とPTAとの兼ね合いもあると思うが。

(古後教育長)

まずは学年担任の先生が集まり、議論する。混乱を招くので、この段階で保護者には公表しない。準備をし、策定して保護者も入っている連携協議会と議論を続ける。内容を見ると、ここのえ学総合学習のここのえ学は、地域の人の協力がなければ出来ないものばかりである。ゲストティーチャーで当然地域の人が入ってくる、地域と一緒にいろいろなものを取組んでいくというスタイルができていく。今まで少しはあったが、こういうふうにやるというと、やはり地域で人材を登録して、一緒にやっていくということになっていく。来年は試行であり、一気に無理だが29年度からはそういうスタイルになっていくと考えている。

(佐藤委員)

こども園と小学校の交流案計画案は、飯田小学校には案があるのか。

(小幡GL)

飯田小学校は一園一校になる。これに+αをすればできるが、基本的には総合こども園と飯田以外の5小学校の計画がベースになっている。

(佐藤委員)

飯田こども園と飯田小学校の計画は入っていないということか。

(小幡GL)

独自にある。

(坂本町長)

それでは、28年度からいよいよ実践するわけであり、今後、年度末にはまた課題を検討し、いい方向に持って行ってもらいたいと思う。その他も含めて意見交換が何かあればどうぞ。

#### 4. 意見交換

(古後教育長)

美山高校の2月26日現在の志願者数である。玖珠郡全体で、普通科が87、地域産業科が20。107名の志願がある。全体では160の募集。玖珠と九重の状況であるが、玖珠は昨年と同じように、全体で47パーセントくらいしか地元には残らない。九重町が48パーセント。去年はもちろん50を超えていた。今後、志願変更が少しある。1次、2次合格者を発表した



<p>5. その他</p> <p>6. 閉会</p>	<p>後2次の入試もあり、最終的な数字は少し増える可能性もあると思う。全体の中学校の半分しか残らない非常事態と言うか、60パーセントぐらい残らないと厳しい。</p> <p>(坂本町長) 厳しい状況である。</p> <p>(古後教育長) これは、うれしいニュースであるが、今、緑陽に福井、島根、山形、岐阜県の知事からが手紙が来ている。どういうことかということ、社会の授業で生徒がそれぞれの県のお宝発見など研究調査をした結果を送った。福井や島根から直筆で町長、知事が「大変ありがとう」と。地域と地域を繋ぐというか、子どもたちもこれを機会に交流しようということで、緑陽が全国的にアピールし、注目を浴びてきているという事である。大変うれしい思いで、学校にも貼ってあるが、知事から直接手紙が来るというのは、あまり例がない。</p> <p>(坂本町長) 皆さん方から何かないか。</p> <p>(ない。)</p> <p>(坂本町長) では、第5回九重総合教育会議をこれで閉じたい。感謝したい。</p>